



NPO法人日本オランウータン・リサーチセンター

2020年度活動報告



ショウガを食べるフランジオス・ゴテン(2019年1月9日ダナムバレイで撮影)

おらけんレポート第5号

会員の皆さまへ 代表 黒鳥英俊からのご挨拶



撮影:黒川ひろみ

活動のお礼とご挨拶

日本オランウータン・リサーチセンター(おらけん)が特定非営利活動法人(NPO)として活動をはじめてから3年目に入ります。昨年は新型コロナウイルスの感染が世界中に広がり、計画していたスマトラ島への再訪も、研究者が調査地ダナムバレイに入ることも断念せざるを得ない厳しい年となりました。しかし、ホームページを刷新したり、オンラインでのイベントを開催したりするなど、「できること」にじっくり向き合い、また新しい試みに挑戦することが出来ました。ご支援いただきました皆さまにあらためて感謝申し上げます。

NPO法人日本オランウータン・リサーチセンターの年間報告書「おらけんレポート」をお届けします。本号では、2020年4月から202 1年3月までの最新の活動状況をお知らせします。

2004年 ダナムバレイでの調査開始 2016年 任意団体設立 2019年6月 NPO法人認定

活動の目的・内容

活動目的:

ボルネオ島とスマトラ島に生息する野生のオランウータンおよび国内の動物園で飼育されているオランウータンを主な対象として、行動や生態、生息環境等に関する学術的基礎研究を振興する事業を行う。

研究支援活動を通じて、絶滅に瀕するオランウータンの保全に貢献するとともに、オランウータンとその生息環境に関する研究成果を一般に普及啓発する事業を実施することで、オランウータンの魅力と現状を伝え、人と自然の持続可能な環境社会づくりに寄与することを目的とする。

ダナムバレイ保護区での野生オランウータンの 調査研究および保全活動の支援事業

講演会等による実情理解を深めるための 教育普及事業 9

日本オランウータン リサーチセンター 国内動物園における

調査研究および動物福祉事業

ウェブサイトやニュースレター等の 情報発信事業

2020年度 主な活動成果 《ダナムバレイ 調査報告》



調査アシスタント



陰性証明書

| 活動の紹介

私たちは、2004年に初めてマレーシア・サバ州にあるダナムバレイ保護区を訪れ、野生オランウータンの調査を始めました。17年経った今もオランウータンの行動や生態に関する研究を続けています。ずいぶん長く調査しているな、と思われるかもしれません。しかし、オランウータンの成長は、「15歳くらいから性成熟が始まって寿命は50歳くらい」というように、人間のような時間軸でゆっくり進みます。彼らの生活史を理解するには、17年の調査など彼らの人生の1/4程度で全然足りません。オランウータンを理解するには、これからも何十年にもわたる長期調査が必要なのです。

■ 2020年度の活動

このように長く続けることができていたオランウータンの長期調査ですが、2020年初期に世界中に拡散した新型コロナウイルス(COVID-19)の影響によって、私たちの研究計画は大幅な変更を余儀なくされました。これまでにも様々な理由で、調査の継続が危ぶまれる機会がありました。しかし、感染症のパンデミックのために1年以上も渡航ができなくなるという事態は、全く想定外でした。

世界各国と同様に、マレーシア政府もまた感染防止のために外国人の入国を1年以上禁止しています。この入国制限は、1回目は2020年8月、2回目は2020年12月、そして3回目は2021年8月までと、3回にわたって延長されました。そのため、私たち研究者らは、2020年度と2021年度前半の渡航を断念せざるを得ませんでした。

■■ マレーシアの現状

マレーシア国内では、感染拡大防止のため長期的なロックダウン (活動制限令)を行っています。1回目は2020年3月~6月に、2回目は2020年10月に実施、現在(2021年5月)も継続中です。 ダナムバレイ保護区から最も近い都市サバ州ラハダトゥ市は、国境が近いこともあって国内でも感染者が増加しやすい傾向があり、より強化されたロックダウンが実施されました。現在、ダナムバレイ保護区に入る場合には、ラハダトゥ市のクリニックでPCR検査を行い、24時間以内に発行された陰性証明書をゲートに提出しなければならない規則になっています。

■■ 現在の調査体制と今後の課題

私たちの調査地では、研究者が調査に同行しない場合でも、オランウータンの巣を数えて生息密度を推測する基礎的な調査ならば、アシスタントだけで調査ができるような体制になっていました。そこで、コロナ感染症の影響によって研究者が渡航できなかったこの | 年間は、アシスタント | 名が、調査小屋に2週間滞在し、生息密度の調査だけを行っています。 残念ながら、安全面や感染症対策などの理由などから、現在はオランウータンの終日追跡を中断しています。

私たちは、この1年は調査の結果よりも、雇用している現地アシスタントの生活を守ることを優先し、現地の状況や人々の心情をよく理解するよう努め、感染症の状況に合わせて臨機応変に現地での活動を調整しています。今、何より重要なのは、17年間継続してきたオランウータンを調査する体制や人材、現地との信頼関係を「維持すること」です。この基盤さえあれば、また元の調査活動を再開できると信じています。

■■ 支援金へのお礼

皆さまからお預かりした支援金は、オランウータンの調査活動に伴う現地アシスタントの給与や調査機材の購入などに使わせていただいております。皆さまのご支援のおかげで、調査規模は縮小してしまいましたが、調査体制を維持することができています。温かいご理解とご支援に、関係者一同、心より感謝申し上げます。



野生オランウータンの父親さがし(理事・田島知之)

多くのサルは人間と同様に群れで暮らします。群れの中で強いオスほどメスとたくさん交尾できて、強いオスが多くの子どもを残すと言われます。しかし、オランウータンはオスとメスが群れることがありません。強いオスと弱いオス、それぞれどのように子孫を残すのでしょうか?

原生林にすむ野生のボルネオオランウータンでは子どもの父 親を特定する研究はこれまでになく、これが初めての例です。

私たちはダナムバレイで2011年からフンを集めてDNA鑑定をして、どのオスが生まれた子どもの父親なのか調べています。この結果がまとまり次第、ダナムバレイの家系図をつくって支援者の皆さまにご報告しようと思っています!



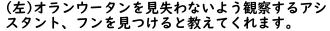


■ ↑オランウータンのオスの2つの形態(左)顔の両サイドにヒダが発達し、体も大型化した優位な形態、フランジオス。(右)顔ヒダがなく、体つきもメスと同等の劣位な形態、アンフランジオスと呼ばれます。アンフランジオスは一生に一度フランジへ変身できます。



■ 大切な試料、フンの収集 🧥

(右)オランウータンが木の上から落としたフンを探す田島。人間とオランウータンのDNA配列は近いので自分の唾液や汗のDNAが混入しないよう、マスクと手袋を付けて、慎重にフンを探します。





■ 調査の合間の楽しみ

2019年の調査の合間に野生のドリアンを拾いました。甘さだけでなく旨味やコクのあるクリームのような美味しさで夢中で食べました。ゾウやオランウータンの大好物でもあります。

ダーウィンとともに進化論を着想したウォレスは、ボルネオでの調査中に衝動的にドリアンを食べたくなるドリアン中毒に悩まされたと書いています。時代や洋の東西を問わず、人も動物も魅了するドリアンはまさに果物の王なのです。



■■ ご支援ありがとうございます!

オランウータンがいつ落とすかわからないフンを集める作業には長い時間がかかります。皆さまの支援をもとにアシスタントを雇用してはじめて成り立つ研究です。心より感謝申し上げます。現在、分析を進めておりますが成果がまとまりましたら、必ずメルマガなどでご報告させていただきます。

2020年度 主な活動成果 《パンフレットと ホームページの リニューアル》



寄付ページ



パンフレット





ホームページ

より多くの皆さまにおらけんの活動を知っていただくために、寄付ページ・パンフレット・ホームページなどの 広報資料をリニューアルしました。

おらけんでは、海外での調査活動に必死で、これまで広報の活動はついつい後手になっていました。しかし、コロナの影響で研究者が海外に行けない時間を活用して、じっくり広報作成に取り組むことができました

! 改めて、皆さまに、おらけんがどのような活動をしているのかをご紹介します。

■ 新: 寄付ページ

≪2020年6月≫

NPO法人などへの寄付募集・管理を行うファンドレイジングツール「コングラント」を利用し、おらけんの新寄付ページを公開しました。以下3つの寄付募集ページを公開中です。

◆ 賛助会員

https://congrant.com/project/orangutan/1077

◆ 毎月の寄付

https://congrant.com/project/orangutan/2058

◆ 都度寄付

https://congrant.com/project/orangutan/2057

■新:パンフレット

≪2020年11月≫

「おらけん」の新しいパンフレットを作成しました。 用紙はFSC認証のものを、印刷はE3PAのシルバー基 準に適合した環境にやさしい方式を選びました。パ ンフレットは、動物園、写真展などオランウータン や東南アジアの霊長類、ボルネオなどにゆかりのあ る場所に置かせていただいています。

■■ 新:ホームページ

≪2021年2月≫

おらけんの新WEBサイトを公開しました。ご好評をいただいていた久世の個人WEBサイトで公開されていたコーナーQ&Aも新しいサイトに移動しています。

すでに、このホームページを見てオランウータンや団体 のことを知ったというお問合せが数多く寄せられており ます。今後もオランウータンの情報をどんどん更新して いきますので、どうぞお楽しみに!

新しいホームページのURL

https://www.orangutan-research.jp/index.html

2020年度 主な活動成果 《講演・イベント》



金森朝子 (Tomoko Kanamori,

12/8 (※) 照確 連続セミナー森林減少と地球温暖化・生物多様性:第3回 「スマトラオランウータンの保全と熱帯林」

算に持続可能な社会に向けて、 熱帯林の座物を消費する私たちの物から何ができるか、 4回のセミナーを通じて考えて行きます。 せいごを払ください。

第3回:スマトラオランウータンの保全と熱帯林

▼2020年

■8月8日(土):小川珈琲主催 オンライン無料講習会 「オランウータン学校」

おらけん理事のオランウータン研究者・田島知之が小学生を対象に 講演しました

小川珈琲株式会社では、8月に「オランウータンコーヒー月間」を 実施、その一環としてオンライン講習会を開催しました。 (※詳細は 6頁参照)

■ 12月8日(火):オンラインセミナー「地球・人間環境フォーラム 主催連続セミナー森林減少と地球温暖化・生物多様性」(全4回) 第3回「スマトラオランウータンの保全と熱帯林」におらけんが登壇、 理事の金森が出演しコメントしました。 プログラム(敬称略)

I.講演:Panut Hadisiswoyo(Orangutan Information Centre)

2. コメント: 金森朝子(日本オランウータン・リサーチセンター)

3.質疑応答

▼2021年

■ 2月 | 9日(土):晃華学園小学校 での「英語科特別授業」を、 理事の田島が行いました。

■ 2月27日(土):ボルネオ保全トラスト・ジャパン主催オンラ イン講演会「ボルネオカフェZOOmトーク」

BCTJ(NPO法人ボルネオ保全トラスト・ジャパン)理事とおらけん代表 を務める黒鳥が、オンラインでの講演を行いました。

■3月28日(日):おらけんによるオンラインイベント「おら けんバーチャル動物園 日本オランウータン巡り Vol. Iおうちから 札幌市円山動物園の仲間たちに会いにいこう!」を開催しました。 (※詳細は7、8頁参照)

■ 3月 | 3日 (土):「東京動物園協会野生生物保全基金」成果 報告会オンライン公開(東京ズーネット)

公益財団法人東京動物園協会が運営する助成基金を受け、おらけん の研究者・久世濃子が調査地ダナムバレイで行った「ボルネオオラ ンウータンのメスの妊娠・出産と果実生産量に関する基礎研究」の 成果が公開されました。

2020年度 メール マガジン

「おらけんマガジン」発行 ▽2020年

4月30日号、5月27日号、6月1日号、6月30日号、7月19日号、8月19日 号、9月27日号、10月25日号、11月26日号、12月2日号、12月26日号

▽2021年

1月26日号、2月23日号、3月6日号、3月20日号 (通巻17号より31号を発行)

2020年度 主な活動成果 《講演・イベント》

2020年度は、新型コロナウイルスの影響で、これまで当たり前のように行なわれていたリアルでのイベント開催が難しくなりました。そして新しい試みとして、オンラインでの講演会が世の中に普及し始めています。私たちおらけんも、様々なオンラインイベントにチャレンジしました。

■■ 小川珈琲主催 オランウータンの森 絵画コンクールへの協賛

小川珈琲は、野生オランウータンの保全活動を支援する「オランウータンコーヒー」を販売する国内唯一の企業です。オランウータンコーヒーの売上の一部は、スマトラオランウータン・タパヌリオランウータンの生息地となる森の保全活動と環境に配慮した栽培を行うコーヒー豆生産農家に寄付されます。小川珈琲は8月19日の国際オランウータンデーに合わせて、「オランウータンの森 絵画コンクール2020」を開催、おらけんは幼児部門、小学生部門、大人部門の優秀作品の選定に協力しました。

【受賞作品はこちらから】 https://www.oc-ogawa.co.jp/news/342/

【オランウータンコーヒーについて】 https://www.oc-shop.co.jp/ic/top-02



■ 2020年8月8日(土) 9時30分~11時 オンライン講座「オランウータン学校」

小川珈琲主催の小学生向けオンラインセミナーを開催しました。おらけん理事で、オランウータン研究者の田島が講師を務め、オランウータンの生態と保全の現状についてお話しました。今年の夏にも同様の企画を考えていますので、ぜひ楽しみにしてください。







写真提供:小川珈琲株式会社

2020年度 主な活動成果 《おらけん ーチャル動物園 - 日本オランウータン巡り~

- **202 | 年3月28日 (日) | 2時~ | 3時 | 0分** (第二部: | 3時20分~| 3時50分)
- ■コロナ禍で動物園に行きづらい状況でも、動物園のオランウータンの暮ら しや、動物園が彼らのために行っている取り組みなどを紹介したいという思い から、新企画を立ち上げました。第1回目は札幌市円山動物園の協力のもと、 円山動物園-おらけん-全国の参加者をZoomでつないで実施しました。
- ■回線の都合上、定員を70名と設定したところ、69名の方がご参加くだ さいました。また多数の質問が寄せられ時間内に回答しきれなかっため、 急遽質疑応答の「第二部」を設定しました。
- ■札幌市円山動物園には、動画の撮影や写真の提供などにくわえ、イベ ント当日に小菅参与およびオランウータン飼育担当の李職員に最後まで 質問に答えていただくなど、多大なご協力をいただきました。

この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

〈当日のプログラム〉

- 1. 札幌市円山動物園の紹介(円山動物園)
- 2. 野生オランウータンの保全について(那須)
- 3. 円山動物園のオランウータンたち(円山動物園)
- 4. 円山動物園のオランウータンの健康管理(円山動物園)
- 5. 講演「オランウータンのコドモとオトナの歯」(中村)
- 6. 質疑応答(参加者・円山動物園・おらけん)







当日のZoom画面より



〈イベント担当スタッフよりひとこと〉

動物園楽しい!動物園すごい!動物園こんなこともやってるんだ?というワクワク感を伝 えたくて企画しました。気軽に動物園に行けない環境下、遠方も含む多くの方々とつな ぐことができたのはオンラインならではの利点でした。

中村(総合統括・歯の講演)



初めて尽くしのイベントでした。どんな方が参加してくださるのかなと思いながら保全 パートを担当しました。数ある保全活動の中でのおらけんの活動をご理解いただけたな ら嬉しいです。





質問の中には、動物園のオランウータンの未来を問う鋭いものもありました。 そうした質問を受けてのディスカッションなど、他の動物園イベントではなかなか聞けな いディープな内容が詰まっていたのではないかと思います。

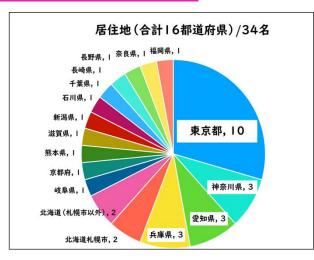
2020年度 主な活動成果 《おらけん バーチャル動物園 ~B本オランウータン巡り~ ②》

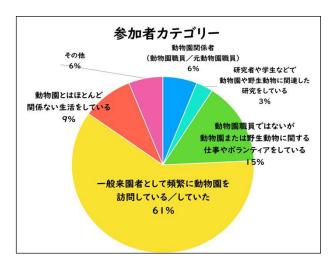
■■終了後のアンケート結果を一部抜粋します。

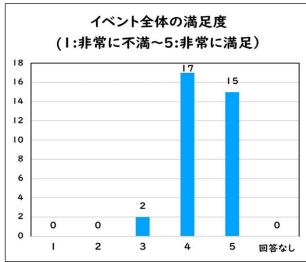
回答期間:2021年3月29日~4月4日

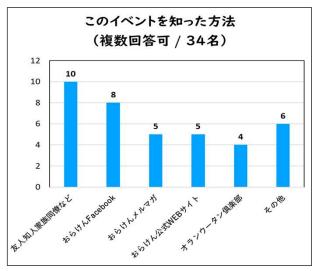
回答数:34

頂戴したお声を参考に、これからも皆さんに楽しんでいただける イベントを企画してまいります。









- ■北海道や東京都だけでなく、関西地方や中部地方などからも一定数の参加がありました。 オンラインならではの参加しやすさによるものと解し、アフターコロナにおいてもこのメリットは活用すべきと 考えております。
- ■イベント全体の満足度はかなり高く評価していただきました。一方で、質疑応答の時間が短かった、 オランウータンの映像をもっと見たかった、などのご意見も頂戴しました。
- ■また、下記事項についてもともと知っていたかどうかという質問も設定しました。
- ①動物園が野生動物の保全活動を行なっていること
- ②私たちの日常生活でも、認証マーク商品の購入などで熱帯雨林の保全に貢献できること
- ③動物園が「ハズバンダリートレーニング」という手法で動物の健康管理をしていること

その結果、このイベントを通じて初めて知ったという声も見られました。 オランウータンや彼らの野生での生息環境に対する興味や理解を喚起することができたと考えております。

2020年度 主な活動成果 《メディア・出版》

オランウータンに





▼2020年

■【インタビュー 代表黒鳥、理事田島】

小川珈琲発刊の情報誌「珈琲物語」(Vol.40 2020年Summer)に、おらけん理事・田島と代表・黒鳥のインタビュー記事が掲載されました。

■【理事 絵画コンクール審査】

8月の国際オランウータンデイに合わせて小川珈琲が「オランウータンの森 絵画コンクール2020」を開催、おらけんの理事が公募された絵の審査に加わりました。優秀作品は小川珈琲店舗で展示されました。

| 【理事監修】

NHK BSプレミアムで再放送

『ホットスポット 最後の楽園』 第二シリーズ (編集版)

「最後の楽園 ホットスポットスペシャル 魅惑の熱帯 〜東南アジア・中米・アフリカ〜』がNHK BSプレミアムで再放送されました。

放送日:2020年9月5日(土)午後6時から(89分)

NHK BSプレミアム

──【著者 久世濃子】

書籍『オランウータンに会いたい』の紹介

大阪国際児童文学振興財団の公式チャンネル IICLOにて、児童書『オランウータンに会いたい』(あかね書房、2020.3発行)を、大阪国際児童 文学振興財団の土居安子さんが動画で紹介くださいました。

【発表者 理事・田島知之】

『オランウータンの食物分配とヒトの「贈与」の連続性』(東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 報告書「FSコロキアム:ヒトを見るよう にサルを見る」)を発表しました。 オンライン発表:2020年9月5日

【著者 代表・黒鳥英俊】

書名『恋するサル 類人猿の社会で愛情について考えた』 発行CCCメディアハウス 価格1,650円 発行 2020年12月4日 四六判並製224ページ ISBN978-4-484-20226-6 おらけん代表の黒鳥は37年にわたって動物園に勤務し、ゴリラ、チンパン ジー、オランウータンを担当したベテラン飼育員でした。長年の現場で黒 鳥が向き合ってきた類人猿たちについて書いた書籍を出版しました。

■■【出演者 久世濃子】

オンライントークショー「ゴリラのはなうた」

特定非営利活動法人ゴリラのはなうたのトークショーに、オランウータンの研究者・久世濃子が出演。第1話から第6話まで、各13分程の映像 (Youtube)が公開されました。

公開日:2020年12月24日

▼2021年

■【インタビュー 代表・黒鳥英俊】

雑誌「クロワッサン」NO.1042 (マガジンハウス) のBOOKコーナーに、著書『恋するサル 類人猿の社会で愛情について考えた』について黒鳥のインタビュー記事が掲載されました。

発売日:2021年3月25日

──【著者 久世濃子】

2020年3月出版の児童書『オランウータンに会いたい』(あかね書房発行)が下記の推薦図書に選定されました。

- •全国学校図書館協議会選定図書
- ·厚生労働省社会保障審議会推薦図書
- •厚生労働省社会保障審議会特別推薦図書
- ·児童福祉文化賞推薦作品選定
- (一般財団法人児童健全育成推進財団)

2020年度 主な活動成果 《論文·学会等で の研究発表》

▼2020年

■ 2020年 | 0月3 | 日~ | |月 |月:第74回日本人類学会2020年度 大会 オンライン開催

久世濃子, 金森朝子, 山崎彩夏, 蔦谷匠, 田島知之, Renata Mendonça, Henry Bernard, Peter T. Malim, 木下こづえ.

「野生ボルネオ・オランウータン (Pongo pygmaeus morio) の雌の妊娠と一斉結実との関係—I5年間の記録—」 ポスター発表

■ 2020年12月4日~6日:第36回霊長類学会 オンライン開催

金森朝子,久世濃子,Henry Bernard,Peter T. Malim,幸島司朗.

「ボルネオ島ダナムバレイ保護区における果実生産量とオランウータンの密度-2019年に起きた一斉結実を含む15年間の季節変化-」 ポスター発表

蔦谷匠, Anna Wong, Peter T. Malim, Henry Bernard, 小川奈々子, 大河内直彦, 田島知之, 金森朝子, 久世濃子.

「安定同位体分析による野生オランウータンの食性推定」ポスター発表

▼2021年

■ 2021年1月19日 共著論文が公開

Kinoshita K, Indo Y, Tajima T, Kuze N, Miyakawa E, Kobayashi T, Nakamura T, Ogata M, Okumura F et al.

"Comparative analysis of sperm motility in liquid and seminal coagulum portions between Bornean orangutan (*Pongo pygmaeus*) and chimpanzee (*Pan troglodytes*)" Primates 62, pp 467-473. (2021)

【プレスリリース】

「ボルネオオランウータンとチンパンジーの精液液状部および凝固部における精子運動性を比較 -絶滅危惧種オランウータンの繁殖生態の解明、生殖介助への貢献に期待-」

https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research-news/2021-01-20-3

・飼育下のオランウータンとチンパンジーの間で、精液の部位ごとの特性が 異なることを発見、動物園での人工授精などの応用が期待されます。

■ 3月17日~21日:第68回生態学会 オンライン開催

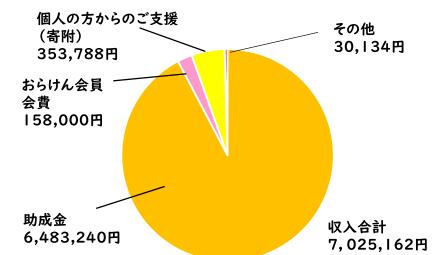
田島知之,久世濃子,金森朝子,蔦谷匠, Renata S. Mendonça,山崎彩夏, Peter T. Malim, Henry Bernard, Vijay S. Kumar,井上英治,村山美穂

「野生ボルネオオランウータンにおけるオスの二型成熟と繁殖成功」 ポスター発表

2020年度 寄付·会費収支報告



助成金・寄付・会費・その他の収入 2020.1.1-2021.3.31



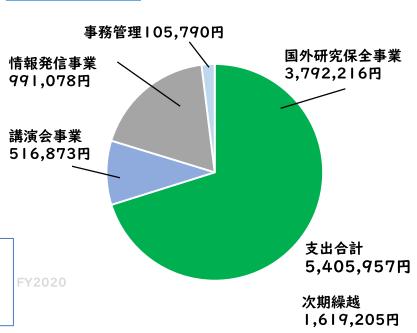
活動支出 2020.1.1-2021.3.31

FY2020



ダナムバレイでの オランウータン調査事業

- ・アシスタントへの給与
- ・アシスタントの食費
- ・調査小屋・備品などの修繕費
- ・水道・光熱費など



2020年度、皆さまからご支援いただいた寄付金は、<u>353,788円</u>でした。 ご寄付のおかげでダナムバレイ調査支援を含む活動を、2020年度も継続して行うことができました。 ご支援に心より感謝申し上げます。

寄付について

日本オランウータン・リサーチセンターの活動は、皆さまからのご支援で成り立っています。 いただいたご支援は野生オランウータンの調査研究(調査助手の人件費、研究道具の購入など)や、 講演会の開催への支援等に活用させていただきます。ぜひ会員・サポーターに申し込みいただき、 ご支援をお願いします。

下記からご希望の会員/サポーターの種類を選んでください。

寄付サイトコングラントのサイト (https://congrant.com/project/orangutan/1077) からもアクセスできます。クレジット決済と口座振替からお選びいただけます。

会員になる

- ・賛助会員 会費 6000円/年 ※活動理念に賛同し、 団体の活動を応援・支援

寄付をする

- ·都度寄付/1回限り ※任意の金額
- ・マンスリーサポーター(継続寄付)I 000円以上/月※NPOの活動を、月々少額で寄付継続的にサポート



金額にかかわらず、ご寄付いただいた皆さまには、下記の特典をご用意しています。

- ・ メールマガジン「おらけんマガジン」の配信(毎月発行)
- 活動報告書を配信(年 | 回発行)

※年間6000円以上ご支援いただいた方には、おらけん特製エコバックをプレゼントいたします。

(エコバックはなくなり次第、配布を終了させていただきます)



助成金

2020年度は、以下の助成を受けました。

- ◇ 公益信託地球環境日本基金
- ◆ 独立行政法人環境再生保全機構/地球環境基金
- ◇ 公益財団法人イオン環境財団
- ◇ 公益信託経団連自然保護基金/経団連自然保護協議会
- ◇ 東京動物園協会 野生生物保全基金

また、2021年度の予算として上記の全助成の継続が決定いたしました。

編集後記

おらけんレポート第5号を無事に発行いたしました。公式WEBサイト、Facebookページでも随時、最新情報を発信しています。 ぜひブックマークや、「いいね!」のフォローお願いします!

公式WEBサイト: http://orangutan-research.jp/

Facebookページ: https://www.facebook.com/orangutan.research/

発行日 2021年5月25日

発行:特定非営利活動法人 日本オランウータン・リサーチセンター

URL: http://orangutan-research.jp/ E-mail: info@orangutan-research.jp

※本ニュースレターの文章・画像等の内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください。

【編集担当者より】

▼新型コロナ禍で様々な活動に制約がかかる中、なんと2019年版よりも多い14枚の報告書となりました。12頁の会計報告を見ると、昨年と比較して活動規模が拡大していることがよく分かります。これもひとえに、皆さまのご理解とご支援の賜物です。

どうかこれからもおらけんへの応援をお願いいたします。

最後まで読んでくださり、ありがとうございました。(内藤)

▼クラウドファンディングが社会に浸透し、コロナ禍に見舞われた2020年は特に、皆さまも様々なプロジェクトに共感し参加されたことと思います。何かの問題に関心を寄せると、そこには複雑な世界が広がっていて時に絶望しそうになりますが、オランウータンが好きではじめたこの活動は、たのしいことを見つけて面白がりつつ続けていけたらと。今日もボルネオやスマトラの熱帯雨林で、オランウータンが食べたり、枝を手繰り寄せたり、糞をしたりしているのです。みんなで生き延びようね!と思います。 おらけんを末永くよろしくお願いいたします。(那須)